

国語シラバス 高校3年

1. 学習の到達目標と評価の観点

	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
(科目) 論理国語	3 単位	第3 学年 《必修》	・『高等学校 論理国語』第一学習社 ・『共通テスト分野別対策ベーシック マスター国語 現代文 改訂第3 版』Z 会 ・『入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500 三訂版』いっずな書店 ・『現代文キーワード読解』Z 会 ・『現代文 記述問題攻略ノート 習得編』数研出版
学習の到達目標	・2 年次の「論理国語」の授業内容を、より発展・深化させる。入試に頻出する現代的なテーマを扱った評論を読み、論理的・科学的な見方や考え方を養う。また、文学的な文章を深く読み込み、主題・構成・心情などを的確にとらえる。以上を他者との関わりを通して深めていく中で、思考力や表現力を伸ばす。【知】【思】【主】 ・年度後半は、大学入試過去問題・予想問題（記述式・選択式 ※図表等の資料や複数テキストの読み取り・比較検討も含む）を扱った演習形式の授業を行ない、総合的読解力や応用力を養う。【思】 ・漢字・語句、文学史の知識を、入試過去問題に触れながらより確実なものにする。【知】 ・希望進路を見据えて目標を設定し、授業を有効活用しながら主体的に自らの課題に取り組む。【主】		
評価の観点	《知識・技能》実社会に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる語彙力・文章力を身に付け伸ばし、大学入学に求められる水準まで到達しているか。漢字テスト、定期考査で判断。 《思考力・判断力・表現力》「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者に分かりやすく伝えることを前提として、的確な言葉で表現できているか。定期考査、提出物の取り組み方・完成度で判断。 《主体的に学習に取り組むたいど》言葉が持つ意味や価値への認識を深めると共に、読書に親しみ言語感覚を磨き自己を向上させ、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりできているか。授業態度、提出物、自己評価シートなどで判断。		

【定期考査における観点別評価について】

年間 4 回の定期考査において、各回とも問題ごとに《知識・技能》《思考力・判断力・表現力》《主体性・多様性・共同性》の 3 観点における評価を行ない、点数化し、評定算出の基本資料とする。

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

A：「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・100%

B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・80%

C：「努力を要する」状況と判断されるもの・・・60%

D：未提出，未実施・・・0%

2. 学習計画及び評価方法等

※教育的効果を考え、事前に生徒に説明した上、扱う教材・内容を変更することもある。

	単 元	学習のねらい	学習のポイント，使用教材等
1 学 期 中 間 考 査 ま で	①大澤真幸「リスク社会とは何か」 ②『共通テスト分野別対策ベーシックマスター』3題 ③漢字テスト	① 難易度の高い文章を読み、入試問題の読解に対応できる力を養う。 ② 文学的文章や資料を踏まえた文章の論理展開に慣れ、内容を正確に読み取る。 ③指定された学習範囲について、計画性をもって自らの力で取り組み、正確な知識を身に付ける。	『高等学校 論理国語』第一学習社 『共通テスト分野別対策ベーシックマスター国語 現代文 改訂第3版』Z会 『現代文 記述問題攻略ノート』数研出版 『入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500 三訂版』いっずな書店 『現代文キーワード読解』Z会
1 学 期 期 末 考 査 ま で	①教科書 河野哲也「コスモポリタリズムの可能性」 ②『共通テスト分野別対策ベーシックマスター』3題 ③漢字テスト	①現代社会における諸問題について自覚的になる。問題に対するアプローチの方法を学ぶ。 ② 文学的文章や資料を踏まえた文章の論理展開に慣れ、内容を正確に読み取る。 ③ 指定された範囲の学習を計画性をもって自らの力で取り組み、正確な知識を身に付ける。	『高等学校 論理国語』第一学習社 『共通テスト分野別対策ベーシックマスター国語 現代文 改訂第3版』Z会 『現代文 記述問題攻略ノート』数研出版 『入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500 三訂版』いっずな書店 『現代文キーワード読解』Z会
2 学 期 中 間 考 査 ま で	①入試問題演習 ②漢字テスト	① 基礎レベルの大学入試過去問題（国公立・私立大学）を制限時間内に解き、内容把握や記述の訓練を行なう。 共通テスト予想問題（論理・実用／文学）を制限時間内に解き、図表を含む資料の読解や複数テキストを比較検討する力を養う。 ② 大学入試過去問題・頻出問題に定期的に触れ、語彙知識を確かなものとする。	『共通テスト分野別対策ベーシックマスター国語 現代文 改訂第3版』 『現代文 記述問題攻略ノート』数研出版 『入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500 三訂版』いっずな書店 『現代文キーワード読解』Z会

2 学 期 期 末 考 査 ま で	①入試問題演習 ②漢字テスト	①標準レベルの大学入試過去問題（国公立・私立大学）を制限時間内に解き、内容把握や記述の訓練を行なう。 共通テスト予想問題（論理・実用／文学）を制限時間内に解き、図表を含む資料の読解や複数テキストを比較検討する力を養う。 ②大学入試過去問題・頻出問題に定期的に触れ、語彙知識を確かなものとする。	『共通テスト分野別対策ベーシックマスター国語 現代文 改訂第3版』 『現代文 記述問題攻略ノート』教研出版 『入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500 三訂版』いっずな書店 『現代文キーワード読解』Z会
3 学 期 期 末 考 査 ま で	自宅学習	自宅学習	自宅学習

【成績評価の概要について】

(1) 学期における評価の対象

- ① 中間考査：100 点（知識・技能や、思考力・表現力の評価）
- ② 期末考査：100 点（知識・技能や、思考力・表現力の評価）
- ③ 平常点（漢字小テスト、提出課題、自主課題等）：50 点（関心・意欲・態度などの評価）

(2) 学期評定の算出方法

定期考査の素点合計 200 点に対し、平常点合計は 50 点とし（素点：平常点＝8：2）、多面的評価を行う。

(3) 年度末評定の算出方法

定期考査の素点合計 400 点（1, 2 学期分）に対し、平常点合計は 100 点（1, 2 学期分）とし（素点：平常点＝8：2）、多面的評価を行う。（2 学期評定も同様）